

子ども・子育て支援事業需要量の算出方法

(1) 利用者支援に関する事業(利用者支援)

※ニーズ調査からの算出なし

(2) 時間外保育事業(延長保育事業)

①対象となる潜在家庭類型：タイプA、B、C、E	}	各タイプごとの人数の割合に、0～5歳の5ヵ年・3地域の人口推計を掛けて「家庭類型別児童数」を算出
②対象年齢：0歳～5歳		
③利用意向率		
①・②の対象者について、就学前児童調査で問12(平日定期的に利用したい教育・保育の施設・事業)に回答したもののうち、「3. 認可保育所」から「9. その他の認可外の保育施設」、問12-3「3. ベビーシッター」のいずれかを選択している、かつ問11-4(2)(利用希望時間)で、「18時以降」と記入してある場合の割合(ただし、無回答を除いて割り戻す。)		
家庭類型別児童数(人) × 利用意向率(割合) = 量の見込み:時間外保育事業利用希望者数(人)		

(3) ー1 放課後児童健全育成事業

【就学前児童調査より】

①対象となる潜在家庭類型：タイプA、B、C、E

②対象年齢：6～8歳(小学校低学年)
9～11歳(小学校高学年)

③利用意向率

①の対象者について、就学前児童調査で問21・問22(5歳児の保護者を対象に放課後の時間を過ごさせたい場所を聞く設問)で、「学童クラブ」を選択した割合(ただし、無回答を除いて割り戻す。)

家庭類型別児童数(人) × 利用意向率(割合) = 量の見込み:5歳児が小学校に上がった時の学童利用希望者(人)

【小学校児童調査より】

①対象となる潜在家庭類型：タイプA、B、C、E

②対象年齢：6～8歳(小学校低学年)
9～11歳(小学校高学年)

③利用意向率

①・②の対象者について、小学校児童調査で問14・問15(小学校1～3年、4～6年の保護者を対象に放課後の時間を過ごさせたい場所を聞く設問)で、「学童クラブ」を選択した割合(ただし、無回答を除いて割り戻す。)

家庭類型別児童数(人) × 利用意向率(割合) = 量の見込み:小学校児童の学童利用希望者(人)

【就学前児童調査より】

①対象となる潜在家庭類型：タイプA、B、C、E

②対象年齢：6～8歳(小学校低学年)
9～11歳(小学校高学年)

③利用意向率

①の対象者について、就学前児童調査で問21・問22(5歳児の保護者を対象に放課後の時間を過ごさせたい場所を聞く設問)で、「学童クラブ」を選択した割合(ただし、無回答を除いて割り戻す。)

家庭類型別児童数(人) × 利用意向率(割合) = 量の見込み:5歳児が小学校に上がった時の学童利用希望者(人)

【小学校児童調査より】

①対象となる潜在家庭類型：タイプA、B、C、E

②対象年齢：6～8歳(小学校低学年)
9～11歳(小学校高学年)

③利用意向率

①・②の対象者について、小学校児童調査で問14・問15(小学校1～3年、4～6年の保護者を対象に放課後の時間を過ごさせたい場所を聞く設問)で、「学童クラブ」を選択した割合(ただし、無回答を除いて割り戻す。)

家庭類型別児童数(人) × 利用意向率(割合) = 量の見込み:小学校児童の学童利用希望者(人)

(3)ー2 プレディ・放課後子ども広場中央（区独自算出）

【就学前児童調査より】

①対象となる潜在家庭類型：タイプA～F（保護者の就労に関わらず利用できるため、全家庭類型を対象とする。）

②対象年齢：6～8歳（小学校低学年）
9～11歳（小学校高学年）

各タイプごとの人数の割合に、6～8歳および9～11歳の5ヵ年・3地域の人口推計をそれぞれ掛けて「家庭類型別児童数」を算出

③利用意向率

①の対象者について、就学前児童調査で問21・問22（5歳児の保護者を対象に放課後の時間を過ごさせたい場所を聞く設問）で、「子どもの居場所「プレディ」」を選択した割合（ただし、無回答を除いて割り戻す。）

家庭類型別児童数（人） × 利用意向率（割合） = 量の見込み：5歳児が小学校に上がった時のプレディ利用希望者（人）

【小学校児童調査より】

①対象となる潜在家庭類型：タイプA～F（全家庭類型）

②対象年齢：6～8歳（小学校低学年）
9～11歳（小学校高学年）

各タイプごとの人数の割合に、6～8歳および9～11歳の5ヵ年の人口推計をそれぞれ掛けて「家庭類型別児童数」を算出

③利用意向率

①・②の対象者について、小学校児童調査で問14・問15（小学校1～3年、4～6年の保護者を対象に放課後の時間を過ごさせたい場所を聞く設問）で、「子どもの居場所「プレディ」」を選択した割合（ただし、無回答を除いて割り戻す。）

家庭類型別児童数（人） × 利用意向率（割合） = 量の見込み：小学校児童のプレディ利用希望者（人）

(4)子育て短期支援事業（子どもショートステイ）

①対象となる潜在家庭類型：タイプA～F（全家庭類型）

②対象年齢：0歳～5歳、6歳～11歳

各タイプごとの人数の割合に、0～5歳および6～11歳の5ヵ年の人口推計を掛けて「家庭類型別児童数」を算出

③利用意向（ア 利用意向率 × イ 利用意向日数）

ア 利用意向率

①・②の対象者について、就学前児童調査の問20、小学校児童調査の問13（泊りがけの預け先）に回答した者のうち、「子どもショートステイを利用した」「子どもだけで留守番をさせた（※小学校のみ）」を選択した者の割合

イ 利用意向日数

アで回答があった者の年間平均宿泊日数

就学前、小学校でそれぞれ算出：家庭類型別児童数（人） × 利用意向 = 量の見込み

就学前の算出量 + 小学校の算出量 = ショートステイ利用希望年間延べ人日

(5) 一時預かり保育、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター(就学前)

- | | | |
|----------------------------|---|--|
| ①対象となる潜在家庭類型：タイプA～F(全家庭類型) | } | 各タイプごとの人数の割合に、0～5歳の5ヵ年の人口推計を掛けて「家庭類型別児童数」を算出 |
| ②対象年齢：0歳～5歳 | | |
- ③利用意向(ア 利用意向率 × イ 利用意向日数)
- ア 利用意向率
①・②の対象者について、就学前児童調査の間19(不定期事業の利用意向)に回答した者のうち、「利用したい」を選択した者の割合
- イ 利用意向日数
アで回答のあったものの年間平均利用希望日数

家庭類型別児童数(人) × 利用意向

- － 「(9)幼稚園預かり保育」【1号認定による利用】の③イ利用意向日数
- － 問18(不定期事業の利用状況)における「ベビーシッター」「その他」の利用日数
(この引き算により、全体から一時預かり、トワイライト、ファミサポ(就学前)が残る)
- = 量の見込み：一時預かり、トワイライト、ファミサポ(就学前)の利用希望年間延べ人日

(6) 乳児家庭全戸訪問事業

※ニーズ調査からの算出なし

(7) 養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

※ニーズ調査からの算出なし

(8) 地域子育て支援拠点事業(子育て交流サロン「あかちゃん天国」)

- | | | |
|----------------------------|---|--|
| ①対象となる潜在家庭類型：タイプA～F(全家庭類型) | } | 各タイプごとの人数の割合に、0～2歳の5ヵ年・3地域の人口推計を掛けて「家庭類型別児童数」を算出 |
| ②対象年齢：0歳～2歳 | | |
- ③利用意向(ア 利用意向率 × イ 利用意向日数)
- ア 利用意向率
①②の対象者について、就学前児童調査の間14(あかちゃん天国の利用状況)で「利用している」「利用していないが、今後利用したい」と回答した者の人数を、回答者全体の人数(無回答の人数を除く)で割った率
- イ 利用意向日数
①②の対象者について、問14で「利用している」「すでに利用しており、今後利用日数を増やしたい」「利用していないが、今後利用したい」と回答した者の年間平均利用希望回数
- 家庭類型別児童数(人) × 利用意向 = 量の見込み：「あかちゃん天国」年間利用希望延べ人数(人)

(9) 幼稚園預かり保育

【1号認定による利用】

- ①対象となる潜在家庭類型：タイプC'、D、E'、F
- ②対象年齢：3歳～5歳
- ③利用意向(ア 利用意向率 × イ 利用意向日数)
- ア 利用意向率
- (ア)1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合 ×
- (イ)不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合
- (ア):就学前調査の問12(平日定期的に利用したい教育・保育の施設・事業)で、「幼稚園(区立・私立)」または「認定こども園」を選択 かつ 問19(不定期事業の利用意向)で、「利用したい」と選択した者が、これらの間の回答者数に占める割合
- (イ):問11-1(平日定期的に利用している教育・保育の施設・事業)で、「幼稚園(区立・私立)」を選択 かつ 問18(不定期事業の利用状況)で、「一時預かり保育」から「その他」を選択した者のうち、問18で「一時預かり保育」または「幼稚園の預かり保育」を選択した者の割合
- イ 利用意向日数
- ①②の対象者について、問19で「利用したい」と回答した者の年間平均日数

家庭類型別児童数(人) × 利用意向 = 量の見込み:1号認定の預かり保育年間利用希望延べ人日

【2号認定による利用】

- ①対象となる潜在家庭類型：タイプA、B、C、E
- ②対象年齢：3歳～5歳
- ③利用意向(ア 利用意向率 × イ 利用意向日数)
- ※2号認定のうち幼稚園利用希望が強いと想定されるもの:
- ア 利用意向率
1. 0 (※上記iiiのニーズ量(人)で利用意向率が反映されている)
- イ 利用意向日数
- 2号認定のうち幼稚園利用希望が強いと想定されるものについて、問10(母親の現在の就労状況)で把握する「就労日数」(1週当たりα日×52週)

各タイプごとの人数の割合に、3～5歳の5ヵ年・3地域の人口推計を掛けて「家庭類型別児童数」を算出… i

①・②の対象者について、問11-1(平日定期的に利用している教育・保育の施設・事業)に回答した者のうち、「幼稚園(区立・私立)」を選択した者の割合を算出… ii

i × ii = 2号認定で幼稚園利用希望が強いと想定されるもののニーズ量(人)… iii

iiiのニーズ量(人) × 利用意向 = 量の見込み:2号認定の預かり保育年間利用希望延べ人日

(10) 病児保育事業

- ①対象となる潜在家庭類型：タイプA、B、C、E
- ②対象年齢：0歳～5歳、6～8歳(小学校低学年)
- ③利用意向(ア 病児・病後児の発生頻度 × イ 利用意向日数)
- ア 病児・病後児の発生頻度
- ①②の対象者について、就学前児童調査の問17-1、小学校児童調査の問10-1(病気やケガをしたときの対処方法)で「区の病児・病後児保育を利用した」「子どもだけで留守番させた(※小学校のみ)」を回答した者と、問17-2、問10-2(病児・病後児保育の利用意向)で「できれば病児・病後児保育を利用したい」と回答した者の合計を、問17、問10(病気やケガをしたことがあった)の回答者全員で割る。
- イ 利用意向日数
- アの各回答の日数の総計を、それぞれの回答をした人数の合計(「延べ」ではなく「実人数」、「0日」回答は除く)で割った数を利用意向日数とする。

各タイプごとの人数の割合に、0～5歳および6～8歳の5ヵ年・3地域の人口推計を掛けて「家庭類型別児童数」を算出

就学前、小学校でそれぞれ算出：家庭類型別児童数(人) × 利用意向 = 量の見込み

就学前の算出量 + 小学校の算出量 = 病児・病後児保育利用希望年間延べ人日

(11)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

①対象となる潜在家庭類型：タイプA～F(全家庭類型)	各タイプごとの人数の割合に、6～8歳および9～11歳の5ヵ年・3地域の人口推計をそれぞれ掛けて「家庭類型別児童数」を算出
②対象年齢：6～8歳(小学校低学年) 9～11歳(小学校高学年)	
③利用意向(ア 利用意向率 × イ 利用意向日数)	
ア 利用意向率	
①の対象者について、就学前児童調査で問21・問22(5歳児の保護者を対象に放課後の時間を過ごさせたい場所を聞く設問)で、「ファミリー・サポート・センター」を選択した割合(ただし、無回答を除いて割り戻す。)	
イ 利用意向日数	
アで回答のあったものの年間平均利用希望日数	
家庭類型別児童数(人) × 利用意向 = 量の見込み:5歳児が小学校に上がった時のファミサポ利用希望年間延べ人日	

(12)妊婦健康診査

※ニーズ調査からの算出なし